(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6 年 6月 30日

大津市長 殿

提出者

住 所 滋賀県大津市打出浜 13番15号

氏 名 株式会社 笹 川 組

取締役社長 髙田 盛介

電話番号 077-523-2314

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

	事	業場	易の)名	称		株式会社 笹川組
	事	業場	の	所右	E地		滋賀県 大津市 打出浜 13番15号
	計	画		期	間		令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日
当該	亥事:	業場に	こお	いて	現に	行:	っている事業に関する事項
	1	事	業	の	種	類	06 総合工事業
	2	事	業	の	規	模	元請完成工事高 約35.2億円
	3	従	美	É	員	数	54人
	4	産漬ー連	業 厚の気	~ ~ ~ ~	要物の工	の程	混合廃棄物 ―中間処理施設にて選別、最終処分施設にて安定型埋立 ―中間処理業者にて選別、最終処分施設にて安定型埋立 ―中間処理業者にて選別、最終処分施設にて安定型埋立 ―中間処理業者にて選別、最終処分施設にて安定型埋立 ―中間処理業者にて選別、原料に再資源化 ―中間処理業者にて選別、原料に再資源化 ―中間処理業者にて選別、原料に再資源化 ―中間処理業者にて選別、原料に再資源化 ―中間処理業者にて選別、原料に再資源化 ―中間処理業者にて選別、破砕、合板等に再資源化 ―中間処理業者にて選別、破砕、合板等に再資源化 ―中間処理業者にて選別、破砕、合板等に再資源化 ―中間処理施設にて破砕し最終処分施設にて管理型埋立 ―再生処理施設に委託し分級・脱水・固化し再資源化 ―中間処理業者にて選別、最終処分施設にて焼却

(日本工業規格 A列4番)

産業	美廃棄物の処理に係る	管理体制に関する事項	
	(管理体制図)		
		別紙資料-管理体制図のとおり	
産業	芝廃棄物の排出の抑制	川に関する事項	
		【前年度(5年度)実績】	
		産業廃棄物の種類には出事しのよなり	
		類と併山里」のこわり	
		t t t	Ĵ
	①現状	(これまでに実施した取組)	
		別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
		【目標】	
		産業廃棄物の種類には出場していなり	
		産業 産業 物 の 種 類 類と排出量」のとおり	
		排 出 量 t	Ĵ
	②計画	(今後実施する予定の取組)	
		別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
産業	美廃棄物の分別に関する	- る事項	
		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	①現状	・鉄くず、廃石膏ボード、紙くずを分別し、他の廃棄物が 混在しないように取り組んでいる。	
		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記分別の徹底を強化する。	
	②計画	- ユーローノル グリマン 10以及で 75代日 y る。	
1			

自	っ行う産業廃棄物の再	再生利用に関する事項	
		【前年度(5年度)実績】	
		産業廃棄物の種類	
		自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t
	①現状	(これまでに実施した取組)	
		・実施なし	
		【目標】	
		産業廃棄物の種類	
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 t	t
	②計画	(今後実施する予定の取組)	
		・実施なし	
自身	<u>Ⅰ</u> 5行う産業廃棄物の□	<u> </u> 中間処理に関する事項	
		【前年度(5年度)実績】	
		産業廃棄物の種類	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t
		(これまでに実施した取組)	
		・実施なし 	
		【目標】	
		産業廃棄物の種類	
		自 ら 熱 回 収 を 行 う 産 業 廃 乗 物 の 量	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t
		(今後実施する予定の取組)	

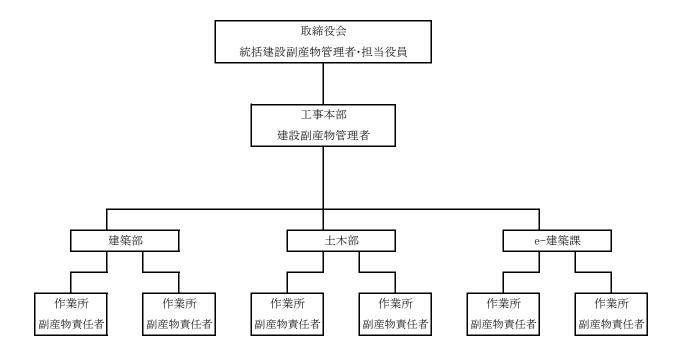
自身	っ行う産業廃棄物の埋	里立処分又は海洋投入処分	かに関する事項	
		【前年度(5年度	E) 実績】	
		産業廃棄物の種類	_	_
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状 	(これまでに実施した取・実施なし	z組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	_	_
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取	(組)	
La XII				
産϶	芝廃棄物の処理の委託 「	T		
		【前年度(5年度	芝)実績 】	Γ
		産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	①現状	認定熱回収業者への処理 委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(これまでに実施した取	(組)	
	1			

(第5面)

	(第5	o 囬 <i>)</i>	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種 類と排出量」のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	t	t
	(今後実施する予定の取	(組)	
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ 事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



※産業廃棄物処理に係る役割

統括建設副産物管理者•担当役員

・ 産業廃棄物処理計画等の決定

建設副産物管理者

- ・各作業所からの処理計画・実施の統括集計・記録保存
- ・各作業所への産業廃棄物処理の指導

副産物責任者

- ・作業所における産業廃棄物処理計画等の作成
- ・作業所における産業廃棄物処理施設の管理
- ・その他産業廃棄物処理に係るの資料作成・管理・実施

	産業廃棄物の種類 現状と計画	混合	廃材	がれ	き類	コンクリートがら		
		現 状(前年度実績)	計 画 (目 標)	現状(前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)		
産事	業廃棄物の排出の抑制に関する 質							
	排出量	162.510 t			13.000 t	616.420 t	550.000 t	
	これまでに実施した取組		き取り(廃プラ 実寸発注(金)			・発注(木くず) ・化(廃プラスチ		
	今後実施する予定の取組	・上記の取組 ・実施工数量	の実施 に元ずく余分	材の抑制				
	っ行う産業廃棄物の再生利用に関 る事項							
	自ら再生利用を行った(行う)産 業廃棄物の量							
	これまでに実施した取組							
	今後実施する予定の取組							
	1 5行う産業廃棄物の中間処理に関 る事項							
9 %	自ら熱回収を行った(行う)産業 廃棄物の量							
	自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量							
	これまでに実施した取組							
	今後実施する予定の取組							
	う行う産業廃棄物の埋立処分又は 羊投入処分に関する事項							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分 を行った(行う)産業廃棄物の量							
	これまでに実施した取組							
	今後実施する予定の取組							
産業事	 業廃棄物の処理の委託に関する 							
	全処理委託量	162.510 t	150.000	14.840 t	13.000 t	616.420 t	550.000 t	
	優良認定処理業者への処理 委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	13.000 t	487.8000 t	550.000 t	
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	13.000 t	508.800 t	550.000 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	
	総定が回収来すめがいが回 収を行う業者への処理委託	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	
	これまでに実施した取組	・可能な限り再	再生利用業者	へ委託が出来	そている。			
	今後実施する予定の取組		憂良認定処理 業者について		する。 三現地確認を)	돋施する。		

	_	産業廃棄物の種類 現状と計画	アスコ	ンがら	ガラス・降	磁器くず	木	くず	蛍光	坎
			現 状 (前年度実績)		現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業事項		棄物の排出の抑制に関する								
	排品	出量	102.570 t	90.000 t	48.000 t	43.000 t	119.965 t	100.000 t	0.009 t	0.008t
	こオ	1までに実施した取組	・梱包材の引・軽量鉄骨の	き取り(廃プラ 実寸発注(金	スチック) ・ 属くず) ・	型枠材の実寸 梱包材の簡素				
		後実施する予定の取組	・上記の取組 ・実施工数量	の実施 に元ずく余分	材の抑制					
	5事									
		ら再生利用を行った(行う)産 廃棄物の量								
	こえ	1までに実施した取組								
		後実施する予定の取組								
	5事									
	廃	う熱回収を行った(行う)産業 棄物の量								
		ら中間処理により減量した(す 産業廃棄物の量								
	こオ	uまでに実施した取組								
	今往	後実施する予定の取組								
		の産業廃棄物の埋立処分又は 大処分に関する事項								
		5埋立処分又は海洋投入処分 行った(行う)産業廃棄物の量								
	こオ	1までに実施した取組								
	今征	後実施する予定の取組								
産業事項		棄物の処理の委託に関する								
	全外	心理委託量	102.570 t	90.000 t	48.000 t	43.000 t	119.965 t	100.000 t	0.009 t	0.008 t
		優良認定処理業者への処理 委託量	0.000 t	50.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
		再生利用業者への処理委託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	43.000 t	0.000 t	100.000	0.000 t	0.000 t
		認定熱回収業者への処理委 託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
		収を行う業者への処理委託	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
		これまでに実施した取組	・可能な限り科	——— 再生利用業者	へ委託が出来	<u></u> そている。				
		今後実施する予定の取組			業者から選定	する。 現地確認を実	- 尾施する。	_		

	_	産業廃棄物の種類 現状と計画	廃石膏	ボード	廃	プラ	管理型源	昆合廃材	繊維	くず
			現 状 (前年度実績)		現状(前年度実績)	計画	現 状 (前年度実績)		現 状 (前年度実績)	計画
産業事工		棄物の排出の抑制に関する	(13 2,7,19,7	(1 1/1)	(III IXANS)	(1 3//	(四十文入城)	(1 40)	(III L.A.III)	(H M/)
	排品	北 量	161.300 t	150.000 t	74.986 t	67.000 t	33.540 t	30.000 t	4.000 t	3.000 t
	こオ	1までに実施した取組		き取り(廃プラ 実寸発注(金)		型枠材の実寸 梱包材の簡素				
	今往	後実施する予定の取組	・上記の取組 ・実施工数量	の実施に元ずく余分	材の抑制					
自らする		う産業廃棄物の再生利用に関 項								
		ら再生利用を行った(行う)産 廃棄物の量								
	こえ	1までに実施した取組								
	今往	後実施する予定の取組								
自らする		う産業廃棄物の中間処理に関 項								
	自	ら熱回収を行った(行う)産業 棄物の量								
		5中間処理により減量した(す 産業廃棄物の量								
	こえ	1までに実施した取組								
	今往	後実施する予定の取組								
		の産業廃棄物の埋立処分又は 入処分に関する事項								
	自	ら埋立処分又は海洋投入処分 行った(行う)産業廃棄物の量								
	こえ	1までに実施した取組								
	今征	後実施する予定の取組								
産業事項		棄物の処理の委託に関する								
	全久	心理委託量	161.300 t	150.000 t	74.986 t	67.000 t	33.540 t	30.000 t	4.000 t	3.000 t
		優良認定処理業者への処理 委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
		再生利用業者への処理委託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	67.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
		認定熱回収業者への処理委 託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
		収を行う業者への処理委託	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
		これまでに実施した取組	・可能な限り利		へ委託が出来					
		今後実施する予定の取組			業者から選定 【は、定期的に	する。 :現地確認を実	産施する。			

産業廃棄物の種類現状と計画		石綿含有	 産廃物	金属	くず				
		現 状(前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状(前年度実績)	F1	現 状(前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業事項	美廃棄物の排出の抑制に関する 頁								
	排出量	31.69t	30t	145.520 t	130.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
		・梱包材の引・軽量鉄骨の	き取り(廃プラ 実寸発注(金		型枠材の実寸 梱包材の簡素				
		・上記の取組 ・実施工数量		材の抑制					
	っ行う産業廃棄物の再生利用に関 5事項								
	自ら再生利用を行った(行う)産 業廃棄物の量								
	これまでに実施した取組								
	今後実施する予定の取組								
する	っ行う産業廃棄物の中間処理に関 5事項								
	自ら熱回収を行った(行う)産業 廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量								
	これまでに実施した取組								
	今後実施する予定の取組								
海洋	。行う産業廃棄物の埋立処分又は 羊投入処分に関する事項								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分 を行った(行う)産業廃棄物の量								
	これまでに実施した取組								
	今後実施する予定の取組								
産業事項	美廃棄物の処理の委託に関する 頁								
	全処理委託量	31.690	30.000	145.520 t	130.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	優良認定処理業者への処理 委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者への処理委 託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	一般である。 収を行う業者への処理委託	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	これまでに実施した取組	可能な限り利	写生利用業者	へ委託が出来					
	今後実施する予定の取組	・可能な限り個 ・委託先処理	憂良認定処理 業者について	業者から選定 [は、定期的に	する。 :現地確認を実	돋施する。			